

京都機械工具株式会社

京都府久世郡久御山町

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「数値が見えるトルク管理」という安全をすべてのひとへ届けるハンドツールメーカー

- 同社製品は、品質の高さが認められ、F1 や FIA 世界ラリー選手権などの現場で使用されている
- デジラチェ [メモルク] は、作業の見える化を実現、より適切な作業・管理、業務効率の向上を可能とした
- 国際見本市へ出展するなど、海外展開を積極的に進めている

企業基本情報

所在地	京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地
電話 / FAX	0774-46-3700/0774-46-3734
URL	http://ktc.jp/
代表者	代表取締役社長 宇城 邦英
設立	1950 年
資本金	103,208 万円
従業員数	214 人



会社概要

同社は、「KTC」のブランドで知られ、ボルトやナットなどを規定のトルクで締め付ける工具「トルクレンチ」などを製造する、日本を代表するハンドツールメーカーである。「軽くて強くて使いやすい」を基本に高品質、独創的な技術力で市場をリードし、自動車整備用工具、医療用工具および関連機器向け、その他一般作業工具など、10,000 アイテム以上の多彩な製品を開発し、アイテム数・生産量ともに国内 No.1 の実績と信頼を得ている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 大手自動車メーカーとテクニカルパートナー契約を締結

大手自動車メーカーへの工具供給に続いて、世界のプロメカニックに対応した最高級（高品質）工具『ネプロス』をはじめとする KTC ブランドの工具を技術サポート付で提供するテクニカルパートナー契約を 2002 年から 2009 年にかけて、国内 F1 チームと締結。さらに、2017 年から参戦する FIA 世界ラリー選手権 (WRC) に対しても工具供給、技術サポートを行っており、世界最高峰のモータースポーツの現場で、同社製品の品質の高さが認められている。



ネプロス 漆ラチェットハンドル

▶▶▶ 作業トレーサビリティを実現 (IoT) したトルクレンチを展開

デジタルトルクレンチ『デジラチェ [メモルク]』は、トルク値のデジタル表示や設定トルク値に達すると音と光で知らせる高精度なトルクコントロール機能を有し、PC 等と通信、測定データを記録・管理することで、作業のトレーサビリティを実現する「IoT 商品」である。現在、スマートグラスを開発・販売する国内ベンチャー企業と、工具とスマートグラスの連携により、トルク管理の更なる見える化、より容易で安全な作業を実現するシステムを共同開発している。



デジラチェ [メモルク]

▶▶▶ 最高級（高品質）、IoT 対応など同社が誇る工具を海外展開

現在、中国に製造拠点を有しており、世界最大級 IT 関連見本市「CeBIT2017」（ドイツ）の「ジャパン・パビリオン」など、国際見本市では、『ネプロス』や『デジラチェ [メモルク]』などの同社が誇る工具を出展している。また、ロボット革命イニシアティブ協議会が日本の IoT ユースケースを世界発信している「IoT ユースケースマップ」においても、『デジラチェ [メモルク]』が紹介されるなど、海外展開を積極的に進めている。



「IoT ユースケースマップ」
(ロボット革命イニシアティブ協議会)